

みんなで

考えよう！

市民の足

岩見沢市生活交通ビジョンを策定

公共交通機関と聞いて何を思い浮かべますか？
公共交通機関を買い物や通院、通勤や通学などに利用していますか？
公共交通機関がなかったら、どうなると思いますか？
あまり考えたことはないかもしれませんが、公共交通を取り巻く環境は大きく変化しています。
今月号は、日常生活に欠かすことができない公共交通について考えてみましょう。

あの会議は？

前に、交通のことを話し合っている会議を見ましたが、あれはどういったものなんですか？
地域公共交通活性化協議会の公共交通のあり方などを検討する協議会です。さまざまな分野の方で構成し、それぞれの視点から市の公共交通について検討・協議を行っているんです。

岩見沢市地域公共交通活性化協議会

市の公共交通を今後どうすれば持続的に維持できるか、また、利便性を向上することができるかを考えるため、利用者の代表の方や公共交通事業者、公共交通を研究する学識経験者や公共交通に関する行政機関などで構成する協議会。さまざまな視点から公共交通について検討・協議を行っています。協議会は、傍聴することができます。開催日時など詳しくは、市ホームページで確認してください。



公共交通機関って…

その公共交通って、何か問題があるの？今は、あまり利用しないからわからないけど…
実は、いろいろな問題を抱えています。まず、公共交通機関には何かあると思います？
バスとかJR…。あつ、タクシーもありますね
そうです。誰もが利用できる交通手段が公共交通機関です。最近だと、自治体が運行するコミュニティバスや、事前予約で運

岩見 さわ子

専業主婦。夫、高校生の娘と中学生の息子の4人家族。近所に自分の両親が住んでいる。気になることがあると聞かずにはいられない、サークル活動などで積極的に動く行動派主婦。



森主査

市企画室主査で岩見沢市地域公共交通活性化協議会の事務局。北海道開発局から岩見沢市役所に出向して現在2年目。職場環境が変わりながらも、奮闘中の中間管理職。



昔と比べると…

その学生時代に乗っていたバスと比べると、どう思います？
言われてみると、乗っている人が少ない気が…。今は、車社会ですもんね
そうです。バスの利用者が減ってきています。今は、一世代で車を数台持っていることが珍しくないですよ
うちも主人と私がそれぞれ持っています。車が無いと、子どもの送迎ができないし、買い物に行く時も、ついつい車を使っちゃいます
もちろん、昔と比べると交通事情やライフスタイルに変化はありますが、車に依存した社会というのが現状だと思います。あと、高齢ドライバーの方が多いというのも車社会を表していますよね。安全面の問題から不安を感じ、運転をやめたいと思っている人がいるけど、運転をやめると出

将来を見据えて…

でも、高齢化が進むと、運転をしない人がもつと増えますよね。どうやって買い物や病院に行けばいいの？うちの両親は、私が送迎するからいいけど…
実は、人口減少や少子高齢化が進むと、高齢ドライバーだけでなく、送迎をする人も減っていくんです。そこで、公共交通機関が重要になってきます。車を持たない人、高齢で運転が難しい人、学生の皆さんにとって、日常生活に欠かせない大切な「足」なんです。でも、利用する人が減り、路線の確保・維持が難しくなっています。公共交通機関と言っても、市内全部をカバーしている訳ではないですよ
そうです。住宅の近くにバスやJRなどの公共交通機関がない交通空白地域もあるんです
そう聞くと、公共交通機関ってすごく重要なことがわかりました。私も歳をとったら車を運転しなくなるだろうし、将来のことを考えると、今から取り組まないと



とダメなんです

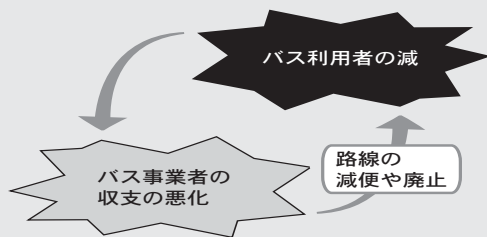
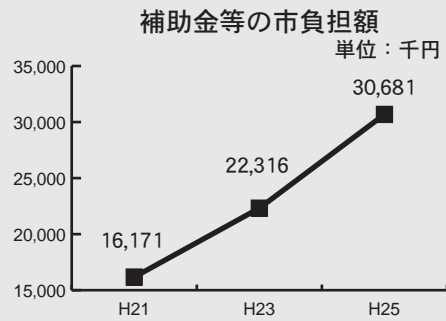
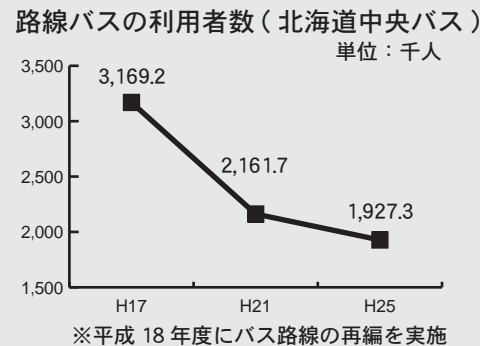
そこで、この公共交通を岩見沢市地域公共交通活性化協議会で検討・協議して、これからの望ましい公共交通のあり方を明らかにした基本方針が、この岩見沢市生活交通ビジョンです

そう言えば、去年の夏、バスのアンケートに答えたのを思い出しました

ご協力ありがとうございました。アンケートや路線バス車内での利用実態調査を基に作りました

そんなんだ。難しそうだけど、ちよつと気になるので、内容を教えてください

わかりました。一部ですが、簡単に説明しますね



バスの現状

市内には、北海道中央バスと新篠津交通の2社と、北村・栗沢町地域で市が運営するバスがあります。路線バスの利用者は減り、運行補助金が増えています。路線の再編などが行われていますが、今後人口減少などにより、利用者が減っていくとみられています。バスを利用する人が減ると、悪循環に陥ってしまうんですね

でも、公共交通は市民の皆さんの日常生活を支える大切な足

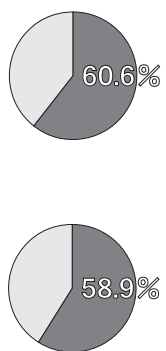
です。どのように構築すれば、今後も維持していくことができるのか考える必要があるんです

調査の実施

去年の7月に、買い物や通院時のバスの利用状況や公共交通に求めるニーズの調査と、通勤・通学や買い物など、何時ごろに、どこからどこへ、どのような目的・交通手段で「行動したか」を把握する調査をしました。9月には、市内の路線バスの利用目的や利用頻度などのバス利用実態調査をしました

路線バスは…

左のグラフは、バスに関するもので、どつちも約6割です。何を示していると思いますか？



ちよつと想像がつかないです。何のグラフですか？

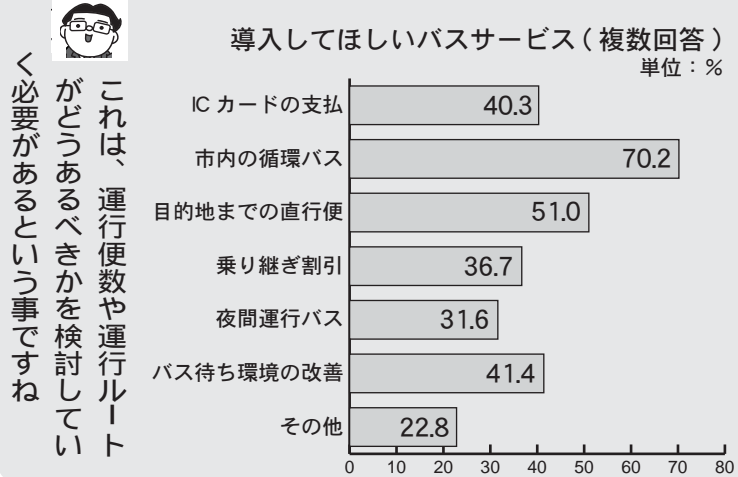
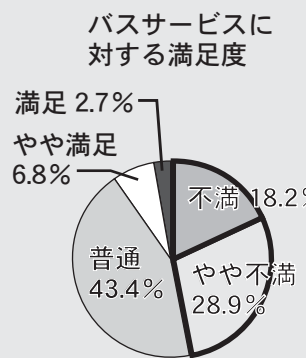
上はバスをめつたに利用しない、下はバスがなくなると困ると回答した方の割合です

利用しないけど、ないと困るって、なんだか不思議ですね

これは、将来的に、公共交通がなくなる生活に不安を持っている方が多いということですよ

バスサービスは…

バスサービスは、5割弱の方が不満を持っているんですね。「市内の循環バス」や「目的地までの直行便」は、私もあれば良いと思います



これは、運行便数や運行ルートがどうあるべきかを検討していく必要があるということです

見えてきた課題

アンケート調査や利用実態調査で市民の皆さんの協力をいただいた結果、大きな7つの課題が見えてきました

利用実態に即したバス交通体系の構築

市民ニーズに即したバス交通のシームレス化※
※乗り継ぎの不便さ等の解消

コンパクトで移動しやすいまちづくりの推進

過度な自動車依存からの脱却

バス利用機会、交流機会の増加に寄与する取り組みの実施

市民ニーズに即した生活交通サービスの改善

増加した郊外部における持続可能な「生活の足」の確保

解決するために

この大きな7つの課題を解決するため、生活交通ビジョンの柱として、4つの基本方針を立てました

これからは、この方針で取り組みを進めるといふ事なんですね。公共交通の大切さがわかったので、私も機会があれば積極的に参加したいと思っています。今日はありがとうございました

コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築

市民のニーズや需要など利用実態を考慮しながら、市全体を見渡した効率的な公共交通のネットワークについて検討するとともに、中心市街地の施設を活用したまちなか交流拠点を創るといった、まちづくりと連携した公共交通の検討

地域特性を考慮した効率的で持続可能な公共交通体系の構築

住宅の近くにバスやJRなどの公共交通がない交通空白地域に対して、需要に応じた新たな公共交通を検討するとともに、郊外部における既存バスの利用実態を踏まえながら、見直しや新たな公共交通の検討

市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供

路線バスの終発時間帯が早いことにより、帰宅などに伴う交通手段の選択に影響を与えている地域などに対して、運行時間帯の改善などの必要性を検討

バス交通の利用促進策の展開

わかりやすいバスマップや時刻表を作成・配布することで、公共交通に関する情報提供を検討するほか、小銭による支払いが生じないICカードの導入や、パソコンや携帯電話端末などにより、バスの運行状況が分かるバスロケーションシステムの導入などを検討

生活交通ビジョンの実現のために、基本方針に沿った計画や施策を検討・推進していくことが重要です。引き続き、地域公共交通活性化協議会で公共交通のあり方などについて議論を進めるとともに、国の補助金を活用して、具体的な計画である地域公共交通形成計画の策定を目指しながら、まちづくりと連携した将来に持続可能な公共交通の構築を進めます。

なお、生活交通ビジョンは、ホームページに掲載しているほか、市役所本庁および北村・栗沢両支所、有明交流プラザサービスセンターの情報公開コーナーで見ることができます。

問合せ先 市企画室

が公にしようとして、ながい健康づくり、違う景色を楽しむこともできます



市企画室 森主査